

2021年12月発行

地域と共に歩み続ける社会福祉士会の広報誌

Ishikawa Association of Certified Social Workers

 一般社団法人石川県社会福祉士会

石川CSW78号

いっし〜通信 

〒920-8557

石川県金沢市本多町3丁目1番10号

石川県社会福祉会館2階

TEL 076-207-7770

FAX 076-207-5460

E-mail icsw@spacelan.ne.jp

URL <https://csw-ishikawa.com/>

コロナ禍でも学ぶ、繋がる



石川県社会福祉士会、石川県精神保健福祉士会、石川県医療ソーシャルワーカー協会
三団体合同研修



各委員会・ブロックでZoom研修続々（能登ブロックの様様）

2年ぶりのLet's友100プロジェクト!!

令和3年7月31日（土）、組織事業強化部では新型コロナウイルス感染予防をした上で、2年ぶりに“Let's友100プロジェクト”をWeb開催しました。

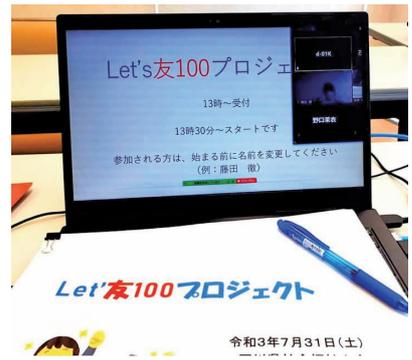
新型コロナウイルス感染症が流行し、石川県社会福祉士会も、昨年はほとんど活動実績がない中、オンライン対策委員会等で、会の活動や研修などがWeb開催でできるよう機材などの準備などを行ってきました。

以前は新規会員向けにビギナーズ研修として企画していたのですが、令和元年度より、“Let's友100プロジェクト”として、新規会員だけでなく既存会員の方、学生や社会福祉士の資格を持っている方や他団体所属の方などにも参加してもらい、顔が見える関係から～♪♪友達100人できるかな？♪♪～をヒントに活動紹介を通じて会員の方に各部や委員会に興味をもってもらい、会の一員として活動に参加してほしい目的と、新しいネットワークづくりの機会として企画しました。当日は33名の会員が参加されました。まだまだ操作など慣れない中、グループワークでは「新型コロナウイルス感染症により、生活様式が変わり、職場でも感染予防で大変な業務の中、実践での思いや悩み」についてフリートークをしました。対面とは違い、画面から顔は見えるのだけど、まだ照れ臭い感じのみなさんでしたが、日頃の思いやこれからの不安なことなど意見交換できました。



これからもオンラインでの会議や研修が続いていくのかもしれませんが、来年度は、対面でできるか？というところですが、新規会員・既存会員の方が興味をもって活動に参加できるよう、各部、委員会活動に取り組んでいきたいと思います。

組織事業強化部理事 垣内 光子



三団体合同研修 再開!!!



令和3年11月20日（土）、同じソーシャルワーカーの志を持つ三団体（石川県社会福祉士会、石川県精神保健福祉士会、石川県医療ソーシャルワーカー協会）の合同研修会が、2年ぶりにオンライン（Zoom）にて開催されました。

研修会では、このコロナ禍において、クライアントとの“蜜”な関わりが大きく制限されるなか、ソーシャルワーカーとしてどのように工夫して権利擁護の視点を保ちつつ、自己決定支援等を行ってきたのかを、当会会員で津幡町地域包括支援センター越村悠さんの実践発表「コロナ禍で動き出す ひきこもり支援」を皮切りに、各団体の代表者が実践発表しました。

実践発表後には、「コロナ禍において、実践現場で感じている支援の変化（やりづらさ、取り組みなど）やジレンマ、課題」をテーマにグループで情報交換を行いました。実践発表で刺激を受けた各団体の参加者のみなさんからは、ソーシャルワーカーらしく「家族が県外で遠く離れていても、オンラインを通して利用者と面会ができるようになった。」等、コロナ禍だからこそ生まれた強みも話し合われていました。

今後、コロナ禍に負けず、三団体のソーシャルワーカーの“絆”を強く太くしていきたいものです。

担当理事 藤田 徹



生涯研修部

生涯研修に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年度に認定社会福祉士認証・認定機構が認証している研修の講義及び演習について、当分の間、WEB会議システム等を用いた実施方法の変更が認められることとなりました。

そこで、日本社会福祉士会と各都道府県士会で相談を重ね、日本士会で新しい生涯研修運営方法の検討・開発・作成が進められました。そのおかげで2021年度はe-ラーニングを使用した講義及びZoom等を使用した演習・グループ討議という、WEBを活用した生涯研修制度の基礎課程である基礎研修を実施することができ、現在進行中です。

生涯研修部は、5月から翌年2月にかけて基礎研修の運営をしているだけでなく、専門課程のスーパービジョンの三者契約に係るマッチングも行っています。そして、これらに関わる準備なども含めて年中活動しています。基礎研修等を運営できるのは、運営担当者の存在だけでなく、講師やファシリテーターのご尽力の賜物です。スーパービジョンにはスーパーバイザーが必須です。そのため、基礎課程を修了した方にはファシリテーターや運営担当者を、専門課程を1回以上修了した方には講師や、スーパーバイザー（登録要件あり）もお願いしたいです。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

来年度までにCOVID-19が終息し、会場での集合研修が実施できるよう、祈念します。

生涯研修部長 吉川 敦



Zoom 研修運営の様子

総務部

総務部では、法制度や社会福祉士に関する各種制度や動向等の情報収集を高め、行政等への働きかけを行うなどの活動を行い、社会福祉士の地位向上のための取組や活動基盤の強化に向けての活動を行っています。

社会福祉士の地位向上に向けた活動では、現在、児童虐待防止等に対応するための新しい児童分野での資格創設が検討されている中で、新資格の創設でなく、社会福祉士や精神保健福祉士を活用することを、日本社会福祉士会、石川県精神保健福祉士会、石川県医療ソーシャルワーカー協会と連携しながら地元選出の国会議員等に働きかけを行っています。

また、活動基盤強化のための活動としては、将来の社会福祉士の育成のための国家試験対策講座や模擬試験を行っています。昨年と今年は金城大学の学生のための講座になりましたが、来年度以降は一般の受講生も交えて開催したいと考えています。講師や模擬試験の運営に興味のある方は事務局までお声掛けください。

そのほか、コロナ対策のためのICT関係の整備を担当しているほか、将来的に、災害支援などの活動も視野に入れています。事業化はまだでも取り組んでみたい活動などもぜひ声を寄せていただければと思います。

総務部事務局次長 島野 桂太郎

地域包括ケア推進委員会

地域包括ケア推進委員会は、地域共生社会の実現に向け、子ども・子育て・女性・障害・高齢・地域・生活困窮などの分野を超えて互いの実践を知り、つながりを深めることを通して、コミュニティソーシャルワーカーとしての実践力向上を目指すため、定例勉強会を開催しています。

今年度は、企画委員のメンバーで話し合い、完全オンラインで定例勉強会を実施しています。様々な分野で働く方々が積極的に意見交換していて、日頃の自分の業務だけでは見えにくい、新たな地域包括ケアの視点に気づくことができます。第1回は「語ろうの会」で、参加者がそれぞれの実践で感じるジレンマ・思いを吐き出し、当事者視点を確認し合いました。第2回では、事例を通して当事者が持つ強みを発見できるよう、「ストレングスの見つけ方」をテーマに行いました。第3回では、ジェノグラムを使い、事例検討を通じて「アセスメントの視点を共有」しました。次回、第4回は、アセスメント力を深めるため、「課題と解決方法の見つけ方」をテーマに取り組みます。

誰もが日々の業務のジレンマに悩むと思います。その悩みを共有し、実践力を身につけることで、少しでも日々の業務に活かしていけるとと思います。現在、定例会は、参加希望者が増え、20名程度が参加し、スキルアップを目指しています。定例勉強会は奇数月第1水曜日19時から開催しています。途中からの参加でも大歓迎です。地域包括ケア推進委員会では、今までの実践の振り返りやこれからの実践、最先端を考えていくべき地域共生社会の実現に向けて有志を募っています。少しでも興味がある方、一緒に参加してみませんか。

地域包括ケア推進委員会代表 川端 脩平



オンライン勉強会の様子

➤ スクールソーシャルワーク委員会

子どもの最善の利益を目指して、子どもや子どもを取り巻く環境への働きかけを行い、寄り添いながら問題を解決していくスクールソーシャルワーカー。現在、約10名の現任者が学校や教育委員会からの要請に応じています。

スクールソーシャルワーク委員会では、スクールソーシャルワーカーの育成や啓発を目的に、2カ月に1度、ケース検討・勉強会を行っています。また会員や委員を対象とした研修会も開催をしています（今後の予定については、決定次第Facebook等でご案内します）。

2021年度はオンラインを利用した活動となりました。いろいろな所属のメンバーが、それぞれの視点からの情報交換をすることで、考えが広がり深まることが多かった、ソーシャルワークの原点を再確認できた、等の声があります。

今後は、スクールソーシャルワークのみならず、地域の子どもやその家庭を支援する委員会への拡充にむけても取り組んでいく予定です。



コロナ前の勉強会の様子。
現在はオンラインで継続しています。

ソーシャルワーク推進部理事 茂尾 亜紀

➤ 高齢者・障害者虐待対応委員会



4月委員会をハイブリッド形式で開催

高齢者・障害者虐待対応委員会は、偶数月の第一水曜日に委員会を開催しています。また石川県高齢者・障害者虐待対応専門職チームに参加し、行政が実施する虐待対応への助言を行ったり、研修会に講師を派遣したりしています。石川県と金沢市から委託を受けている研修会を開催することも大きな事業の柱となっています。

委員会では専門職チームとして実際に行政に対して助言した事例（匿名化）をもとに事例検証を行っています。ジェノグラム・エコマップを活用して全体を把握し、時系列に沿って、虐待対応のソーシャルワークがどのように行われたのか流れを確認します。対応の流れを視覚化し適切な対応だったのか、アドバイザーの助言が適切にできていたのかを検証しています。遠方の方でも参加できるようにハイブリッド形式で実施していましたが、まん延防止等重点措置が発令された8月以降はZoomで委員会を開催しています。

昨年度は中止となった高齢者虐待対応現任者標準研修は、今年度は演習部分も含めて完全にオンラインで開催しました。演習の部分もオンラインということで、何度も打合せを行い実施することができました。研修コーディネーターの寺本紀子さんを始め、講師やファシリテーターを引き受けてくださった皆様、ありがとうございました。

今年度は日本社会福祉士会が主催する第8期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～に森山雅美さんと高名祐美さんに受講していただくことになりました。多くの方に委員会に参加していただき、アドバイザーとして活躍できる方が増えることを願っています。

高齢者・障害者虐待対応委員会 企画委員 小鍛治 康生

➤ ばあとなあ石川

ばあとなあ石川では、名簿登録者となった委員の後見活動における質の向上と技術向上のために、毎月第2土曜日の午後にフォローアップ研修として事例検討、外部講師を招いての講習を行っています。また、フォローアップ研修に続いての定例会では、実務上で知り得た情報などを共有しています。フォローアップ研修、定例会ともに今年度よりオンラインによる開催を主としたことから、参加利用促進法に基づく市町村での中核機関の立ち上げにおいて、家庭裁判所、弁護士会、司法書士会等の士業団体と連携を計りながら、各市町村への支援も進んでいます。

実際の実務では新型コロナウイルスの影響により被後見人等と面談がなかなかできないなどの苦労は続いていますが、色々な工夫をしながら、これからも被後見人等が不利益とならないような意思決定支援と事務ができるように他の委員とのコミュニケーション、情報交換ができるようにしていきます。

成年後見部長 齋田 和樹



学術部・調査研究委員会

冊子「実践と研究」を▶
発行しています。



学術部では、1年に1回、冊子「実践と研究」を発行するために、3カ月に1回程度集まり編集会議を行っています。冊子には論文、研究ノート、会員レポート等が掲載されています。これらの原稿を投稿したいという会員の方がいましたら是非、挑戦してみてください。

また、調査研究委員会では、現在10名の委員がいます。集まったときはワイワイガヤガヤと内容をどのようにするか、配置はどうするか等、額を突き合わせて協議しています。募集した原稿が揃ったところで原稿の校正を行い印刷に回します。一緒に活動してみませんか。

ちなみに、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で編集会議はズーム参加となり、集まる機会がありませんでした。しかし、ズームだと遠方の委員でも参加しやすいと感じました。参加の負担も少ないですので是非参加してみませんか。

学術部理事 西村 修一

金沢ブロック

金沢ブロックでは、年2回の研修会を開催しているほか、会員同士の交流を深めるための親睦会（飲み会）を開催しています。

秋には金城大学の学園祭に出店し、お菓子やジュースを販売しながら、社会福祉士会の周知をしています。周知と言いましたが、実際は楽しく学生や仲間達と交流する場になっています。金城大学出身の会員はぜひ参加をお願いしたいです。（もちろん出身校が異なる方も大歓迎です）なお、親睦会や金城祭に関しては、コロナ禍の影響で今年度は中止しています。

他にも、毎月第4土曜日10:30~12:00は、金沢市野町の古民家カフェで「福祉相談カフェ善隣」を開催しています。地域住民等の参加者に向けて福祉セミナーを開催し、コーヒーを飲みながら福祉に関する勉強会を行っています。現在は、コロナ禍ということもあり、セミナーではなくコロナ相談会を開催しています。相談会といっても、堅苦しい内容ではなく、地域の方々と和やかに談笑する集まりですので、気軽にご参加ください。

金沢ブロックの活動に関しては、定期的に委員会を開催して、活動内容を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。金沢ブロックは参加しやすい内容ですので、入会したての方や若い方にぜひ参加いただきたいです。気になる点やわからないことがありましたら、気軽に事務局までご連絡ください。

金沢ブロック理事 越村 悠

能登ブロック

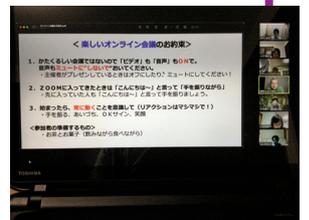
能登ブロックでは毎年3~4回の研修会を予定しています。コロナ禍で集合研修ができなくなり、毎年のように行っていた顔合わせも難しくなってしまう、昨年度はZoomに慣れることから研修会を重ねました。少しずつZoom操作にも慣れ、今年度は8月25日に「ファシリテーション技法を学ぶ」、10月9日に「公的年金の仕組みと手続き」とZoomを使ってのオンライン研修会を終えました。

能登ブロックは移動手段が不便で、集合研修の時には時間がかかることもあり、研修会に参加する事をためらう会員も多かったと思いますが、Zoom研修になったおかげで移動に時間を取られないこともあってか、どちらの研修も参加人数は企画側の予想を超えた参加がありました。今後は2月19日に石川県医療ソーシャルワーカー協会、石川県介護支援専門員協会能登中部支部との合同研修会を予定しており、現在打ち合わせを重ねています。他ブロックとの合同研修会も予定しており、会員が参加して良かった、楽しかったというような研修会を企画していきたいと思っています。顔の見えるつながりを作りにくい時ですが、ZoomやGoogle Classroomなどを活用し、横のつながりが増えるようにしていきたいと思っています。みなさん、参加の程よろしく願いいたします。

能登ブロック理事 山形 優子



Zoom 研修会の様子



“楽しい会議”のための工夫も

加賀ブロック

11月13日開催
加賀ブロック・ぱあとなあ石川合同研修会▶

加賀ブロックでは、従来不定期開催だった運営委員会を定期的に開催するようになりました。運営委員会では、「活動企画」や「会員の活動参加者の増加」などの話を行い、ブロックの活性化を目指しています。

11月に『加賀ブロック・ぱあとなあ石川合同研修会』をリモートにて開催しました。虐待対応をテーマとして、講師にケアマネステーション金沢の山下由香氏を迎え、目標数を上回る人が参加されました。社会福祉士として被虐待者を早期に発見・対応し、被虐待者の望む暮らしの回復につなげていく大切さ（権利擁護）等を学びました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、直接の顔の見える研修会やミーティングの機会を減少させてしまいましたが、それを補う形でリモートでの研修やミーティングが活性化しました。今後もリモートを活用しての活動になると思いますが、新型コロナウイルスの感染状況を見て、リモート開催だけではなく、感染対策を十分に配慮した会場開催も、ブロック運営委員の皆様と話し合いながら企画できたらと思います。よろしく願いいたします。

加賀ブロック理事 大音師 雅樹



新役員・事務局員紹介



永岡 和徳 - 生涯研修部理事

この度、生涯研修部理事をさせて頂くことになりました永岡和徳です。今年度は主に基礎研修Ⅰを担当しています。私自身も基礎研修を受講しましたが、数年経った今でも、研修で出会った方々とは業務に関する相談や近況報告等で連絡を取り合うことがあります。仕事をする上でも価値観や考え方の引き出しが増えました。

改めて、研修は受講生、講師、ファシリテーター等、関わる皆さんでつくるものだと感じています。皆さんと共に社会福祉士会をさらに盛り上げていきたいです。



越村 悠 - 金沢ブロック理事

この度、金沢ブロックの理事をさせて頂くことになりました越村悠です。普段は津幡町地域包括支援センターに勤めています。

金沢ブロックは、私が入会して右も左もわからないときから参加させてもらい、社会福祉士としてお互いを高め合える仲間に出会えた、素敵な居場所です。今後も前任からの流れを引き継いで、気軽に参加でき、会員同士のつながりを深められる委員会にしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。



山形 優子 - 能登ブロック理事

今年度能登ブロック理事を務めさせて頂く山形です。恥ずかしながら社会福祉士資格を取って20年以上が過ぎ、長年会費を払うだけの幽霊会員だった私が、まさかブロック理事とは自分でも驚いています。

研修会への参加も不真面目だったのですが、今回企画側になったことで色々なことを学ばせてもらっています。研修会を通して、楽しみながら皆さんとのつながりを作っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



大音師 雅樹 - 加賀ブロック理事

この度、加賀ブロック担当理事となりました、大音師雅樹です。独特の苗字で、よく「だいおんし」とか「おおねし」などと間違われますが、「おおとし」が正解です。

職場は、数年前からデイサービスセンターの管理者として勤務しています。土曜日勤務がほとんどですが、できる範囲で研修等の活動に参加できたらと思っています。今後は、加賀ブロック運営委員会の皆様と共に、ブロック内の会員の方々との横のつながりを充実させて、ブロック内の活性化を図っていききたいと思っています。皆様、どうぞよろしくお願い致します。



北山 達朗 - 監事

この度、監事を担当することになりました、能登ブロックの北山達朗です。

コロナ禍で活動が制限される中、周りや地域との関わりが希薄化することのないように、関係団体や地域との関わりをつくり、つないでいく事が大切になると感じています。そのためにも、会員の皆さんとのつながりを大切にして、情報共有や交換し、お互いが学び成長できるように、活動していきたいを思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



山下 国子 - 事務局員

4月より事務局で勤務しております、山下国子と申します。

なにぶん素人でございますので、専門用語がわかりません(笑)。たくさんの方々に助けていただいて何とか業務をこなしております。皆様、これからもどうぞよろしくお願い致します(*^-^*)。

世の中がいつもと違っていましたが、やっと戻りつつあるのかな……。休日にはすこし遠くに行きます。久しぶりの100名城巡り、マスクをはずしてパチリです。早く普通に誰とでもおしゃべりできる日々がやってきますように。

会長挨拶

会員の皆様、関係者の皆様、日頃より大変お世話になっております。

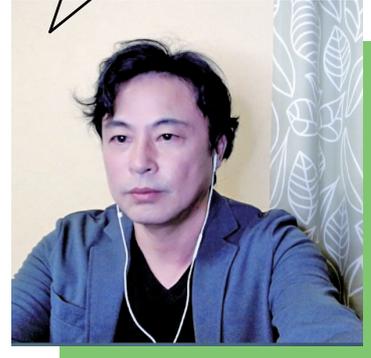
今年度は、昨年度の新型コロナウイルス感染症対策により右往左往した経験を糧に、コロナ自粛時でもリモート活動を充実させ、これまでの事業活動を復活させつつ、新たな領域の会員サービスにも踏み込んできました。リモートシステムを強固にするため、パソコンや様々な接続機器を大胆に導入し、事務局も委員会も会員自ら切磋琢磨しながら新たな環境に挑戦してきました。これにより、研修や会議、その他の活動もリモートにより自宅で充実したサービスを受けることができたのではないのでしょうか。会員の皆様も自宅の Wi-Fi 環境の整備などご苦労されたと思いますが、委員会も相当努力したことをお伝えしたいのです。私を含め、全ての会員が IT に詳しいわけではなく、苦手意識で逃げだしたい者もありますが、今一緒に力を合わせて勉強しようと思ってきました。なので、会員の皆様の中に「リモート研修会をやりたいが苦手だからわからない！」という方がいましたら、遠慮なく相談してください。私たちがわかることはお伝えします。

さて、新型コロナウイルス感染症は、広範囲な被害をもたらしました。会員各位にも困難な状況があることは理解しています。しかし、「私たち社会福祉士にできることは何か」を考えるチャンスとも言えるのです。

今、私たちにできることは、感染症に起因する諸問題について、私たちソーシャルワーカーのやり方で対応していくことが必要ではないのでしょうか。クライアントのニーズを拾い上げ、集約し、施設や相談支援機関、行政、地域機関等の様々な関係機関・社会資源と協同し、丁寧に対応し、対処していくのです。この原則は、平時でも非常時でも不変です。

今注意が必要なのは、感染症による不当な差別、感染症により見えづらくなったサービス利用者の人権が侵害されていないかということです。社会福祉士は、サービス利用機関側にもサービス利用者側にも地域にもいて、医療機関、社会福祉施設、行政機関、教育機関にも仲間がいるのです。このように広範囲な機関に存在していることは、私たちの「強み」です。倫理綱領に「社会正義の原理」を掲げる本会です。今一度、私たちの周辺をチェックし、協力して問題に立ち向かおうではありませんか。

会長 堂田 俊樹



新規会員紹介

野口 茉衣 (のぐち まい)

所属：金沢市社会福祉協議会 地域福祉課

大学卒業後、東京都にある豊島区民社会福祉協議会でコミュニティソーシャルワーク事業を担当していました。区の独自事業で法制度に則らない事業であったため、難しさもありましたが、それと同時に一人ひとりの生活に寄り添いながら、地域住民・団体の皆様とも力を合わせながら柔軟な対応ができ、非常にやりがいを感じる仕事でした。

これからは、自分を育てて支えてくださった方々のお力になりたいと思い、Jターン転職し、十数年ぶりに石川県での生活を再開しました。金沢市での生活は初めてなので、地域特性や社会資源の違いに驚くことも多い毎日です。その違いも楽しみながら、まずは石川県・金沢市の社会資源を学び、地域を知りたいと思います。

石川での生活に欠かせない、車。ペーパードライバーだったため、本当に本当に本当に運転が苦手なのですが、少しずつ色々なところに出かけて克服したいと思っていますので、是非お出かけにおすすめの場所等を教えてください。

社会福祉士会に入会し、志高く活動していらっしゃる方々の仲間入りができました。金沢市の皆さんが、社会とのつながりや生きがいをもちながら生活できるよう、自己研鑽に努め、柔軟さを忘れず、日々向上心を持って活動していきたいと思っています。





事務局インフォメーション

◆お知らせ **石川県社会福祉士会ホームページ『会員ページ』**について

会員ページに理事会議事録・求人情報等を掲載しています。HP:<https://csw-ishikawa.com/>

※閲覧にはパスワードが必要です。



パスワード



成年後見センター

成年後見センター ばあとなあ石川
のご紹介



生涯研修センター

生涯研修センター・研修委員会
のご紹介



News & Topics

石川県社会福祉士会からの
お知らせを見る

石川県社会福祉士会 Facebook



e-ラーニング講座を視聴しよう！

公益社団法人日本社会福祉士会ではICTを活用して、社会福祉士に必要な知識(生涯研修・専門的な知識・制度施策の動向)等を学ぶ講座の提供を行っています。インターネットを介してそれらの講座を視聴できます。

日本社会福祉士会と石川県社会福祉士会との覚書の締結により、石川県社会福祉士会の正会員は、2020年10月から『日本社会福祉士会e-ラーニング講座』の多くの講座の視聴が無料(一部有料の講座もあります)となりました。

受講手順は、日本社会福祉士会ホームページの「e-ラーニング講座」のページから、「e-ラーニング講座のご利用方法」をご覧ください。

~~~~~

### ホームページへの会員投稿募集中！！

石川県社会福祉士会ではホームページリニューアル以降、イベント・研修会のご案内、Facebookとの連動等による情報発信を積極的に行っていますが、ホームページが会員のみなさまにとって、より良い情報交換の場にできるよう、ぜひみなさまからの「会員投稿」をお待ちしています。ご寄稿の際は、①会員氏名、②投稿のタイトル、③本文を事務局までメールにてお送りください。メール本文、Word等、形式は問いません。また画像やPDFデータ、関連リンクのご案内も可能ですので、あわせてお知らせください。内容については、書籍の紹介、イベント等のご案内や参加報告等、自由です。また、連載のご希望等についても随時お待ちしております。

会員のみなさまや社会福祉士に興味を持つ方にとって、見やすい、使いやすいホームページを会員のみなさまとともに作っていきたく思いますので、ぜひ引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「会員投稿」の送り先(事務局)： [icsw@spacelan.ne.jp](mailto:icsw@spacelan.ne.jp)

## 編集後記

さて、2021年暮れとなりました。今年も新型コロナウイルス感染症について、小康状態と変異株による波を繰り返し、翻弄された一年となった方も多いのではないのでしょうか。それでも、新規役員・事務局員の充実、2020年に各部・委員会等でオンライン会議の習熟度を高めたことにより、会員同士の交流・企画が再開されてきました。まだまだZoomの写真ばかりではありますが、昨年よりも活気が戻ってきた様子を、会報を通じてお届けできたのではないかと思います。各部・委員会では日々工夫を重ねておられますので、来年はさらに多彩な取組をご紹介できるのではと胸を躍らせています。HPも含めて会員のみなさまからのご寄稿もお待ちしております。

(広報委員長 大田健志)